

社団法人 日本ボディビル連盟
平成18年度臨時総会議事録(抜粋)

日 時 平成18年9月30日(土) 午後3時30分開会

場 所 大阪厚生年金会館 7階「フーロールA」
〒550-0013 大阪府大阪市西区新町 1-14-15 506-6532-6301

会長挨拶 本年度の事業は皆様のご協力により着実に進行しております。明日の大会により男子世界大会の代表選手が選ばれます。また明日の大会は第5回日韓親善大会も同時開催の為本日韓国選手団が夕方関西空港に着きます。金会長を筆頭に10名の役員・選手が着きます。また今年の12月には第15回アジア競技大会がドーハで開催されます。残念ながら選手を8カテゴリーに全員推薦したのですがJOCが今年のトリノのオリンピックで惨敗したので、選手、役員は少数精鋭で構成するとのことで選手8名の申請中4名、役員4名の申請中2名、その内1名が自費参加で承認されました。

いずれにしてもボディビルもいよいよ競技スポーツとして皆様の長年の努力が実ってオリンピック正式種目にもう一步のところまでできましたので、皆様と一緒に高いレベルにもっていききたいと思います。

来年は東アジア選手権大会を日本の山口県で8月に開催されることが決定されました。このように日本連盟主管山口県連盟運営実行で成功にもっていききたいので皆様 の協力をお願いします。この東アジア選手権大会は7カ国、日本、韓国、中国、香港、台湾、マカオ、モンゴルにて構成されております。とかく韓国、中国とは問題があるようですがスポーツにより友好の実をあげたいと思います。

議長選出 定款22条により、議長は玉利齊会長を選出。

議事録署名人の選任 議長より議事録署名人2名の選出を諮り、沖西潤次正会員と酒井孝正会員を選任。

定足数の確認 正会員総数60名。本日出席正会員32名、委任状による出席正会員24名、合計56名により正会員総数の過半数を上回り、定款第24条に基づき総会は成立。

議 題

[第一号議案]平成18年度前期事業報告について

1. 国内事業

(1) 第10回日本クラス別ボディビル選手権大会

主 管:東京ボディビル連盟 実行委員長:白井オサム 東京連盟理事長

開催日:平成18年7月30日(日) 会 場:江戸川区総合文化センター

東京連盟白井理事長より参加選手215名(東京を含め)、入場者1000名以上というマンモス大会であったことが報告され、アジア競技大会出場選手4名が選出され、見ごたえの有るレベルの高い大会であったこと、並びに上記の成績が報告された。

(2) 第17回ジャパンオープンボディビル選手権大会

第23回ジャパンミックスドペアボディビル選手権大会

主 管:埼玉県ボディビル連盟 実行委員長:栗原 信行 埼玉県連盟理事長

開催日:平成18年8月6日(日) 会 場:志木市民会館パルシティ

埼玉県連盟朝生正会員より、クラス別大会の次の週ということで男子31名、女子18名、ミックスドペア2組、入場者330名という内容、並びに上記の成績が報告された。

(3) 第14回日本女子新人ボディビル選手権大会

第6回ミス21健康美大会

ボディ・フィットネス日本代表選考会

主 管: 日本社会人ボディビル連盟 実行委員長: 五十嵐清四郎 日本社会人連盟理事長

開催日: 平成18年9月2日(土) 会 場: 品川区 きゅりあん

日本社会人連盟五十嵐理事長より、女子新人選手権大会の選手の参加が8名と年々少なくなっていること、審査内容も接戦であったこと。健康美については20名の参加、ボディフィットネスには15名の参加となり昨年よりも倍近く増えていること、入場者260名前後であり収支はマイナスになること、上記の成績が報告された。

(4) 第11回オールジャパンミスフィットネス選手権大会

主 管: 栃木県ボディビル連盟 実行委員長: 酒井 孝 栃木県連盟理事長

開催日: 平成18年9月3日(日) 会 場: 栃木県総合文化センター

栃木県連盟酒井理事長より、オールジャパンミスフィットネスの選手が少なかったがレベルの高い大会であったこと、収支が黒字になったことが報告された。

(5) 第1回全国高等学校ボディビル選手権大会

JOCジュニアオリンピックカップ第18回日本ジュニアボディビル選手権大会

第18回日本マスターズボディビル選手権大会

実 行: JBBFマスターズ委員会 実行委員長: 磯村俊夫 マスターズ委員会委員長

開催日: 平成18年9月24日(日) 会 場: 江戸川区総合区民ホール(タワーホール船堀)

磯村ジュニア&マスターズ委員会委員長より、全国高等学校選手権大会の出場選手がどのくらいになるか不安であったが、17名の参加があったこととレベルが高かったことが報告され、今後の大会開催の協力要請があった。また、マスターズの出場選手は昨年より10名増え、充実されてきていること、並びに上記の成績が報告された。

2. 国際事業

(1) 第1回シンガポール招待ボディビル選手権大会

開催日: 平成18年5月18日(木)~22日(月) 会 場: シンガポール

団 長 玉 利 齊 日本ボディビル連盟会長

団長補佐 吉 田 進 日本ボディビル連盟副会長

監督 五十嵐清四郎 日本ボディビル連盟正会員

吉田副会長よりアジアの会議があったこと、五十嵐監督よりスケジュールが過密であったこと、上記の報告があった。

(2) 第2回東アジアボディビル選手権大会

開催日: 平成18年6月22日(木)~26日(月) 会 場: 台湾 高雄

監督兼審査員 藤原 達也 日本ボディビル連盟副会長

コーチ 嶋岡 克巳 日本ボディビル連盟正会員

藤原副会長より次回の開催(2007年)を日本・山口県にて申請し、満場一致で承認されたこと、並びに上記の報告があった。

(3) 第23回アジアマスターズボディビル選手権大会

開催日: 平成18年8月30日(水)~9月4日(月) 会 場: ベトナム ビエン・ホア

監督 青田 正順 日本ボディビル連盟正会員

青田監督より、会場でのカラーリングを見てきたこと、ジュニアの層が厚いこと、並びに上記の報告があった。

第24回世界女子ボディビル選手権大会

第11回世界ミスフィットネス選手権大会（開催日・会場同上）

第5回世界ボディフィットネス選手権大会（開催日・会場同上）

開催日：平成18年9月20日(水)～26日(火) 会場：スペイン サンタスサナ

監督兼審査員 大垣 純子 日本ボディビル連盟女子委員会委員

朝生競技力向上委員長より、女子ボディビルの選手は少なかったがレベルは高いこと、ボディフィットネスは選手が多くレベルも高く今後の発展性が期待されるとの報告があった。

後期事業予定

1. 国内事業

(1) 第52回男子、第24回女子日本ボディビル選手権大会

協力：大阪ボディビル連盟 実行委員長：吉川雄士 大阪連盟理事長

開催日：平成18年10月1日(日) 会場：大阪厚生年金会館 芸術ホール

(2) JBBF公認指導員講習会 予定：平成19年2月10日(土)～12日(月・祝)

会場：タワーホール船堀

募集内容 一級並びに補講 42名

二級 48名

以上の実施日について説明された。

(注意)内容については総会終了後決定されたので早期連絡のため追記した。

2. 国際事業

(1) 第5回日韓親善ボディビル選手権大会

開催日：平成18年10月1日(日) 会場：大阪厚生年金会館 芸術ホール

監督 粟井 直樹 日本ボディビル連盟理事

コーチ 小沼 敏雄 日本ボディビル連盟

審査員 中尾 尚志 日本ボディビル連盟常務理事・審査委員会委員長

藤原 達也 日本ボディビル連盟副会長

朝生 照雄 日本ボディビル連盟正会員・競技力向上委員会委員長

磯村 俊夫 日本ボディビル連盟会長特別補佐

男子65kg級 津田 宏 東京 トーニクセンターサンブレイ

男子70kg級 村松 幸大 埼玉 ウインスポーツクラブ

男子75kg級 下田 雅人 千葉 スポーツジムドリーム

男子80kg超級 木澤 大祐 愛知 ゴールドジム名古屋金山

(2) 第59回世界男子ボディビル選手権大会

開催日：平成18年10月25日(水)～31日(火) 会場：チェコ オストラバ

団長 玉利 齊 日本ボディビル連盟会長

団長補佐兼監督 吉田 進 日本ボディビル連盟副会長

コーチ 鳥谷部 篤 日本ボディビル連盟競技運営委員長

男子70kg級 合戸 孝二 静岡 マッスルハウスGYM

男子80kg級 今中 直博 大阪 スポーツジム B&F

(3) 第26回世界マスターズ選手権大会

開催日:平成18年11月9日(木)～13日(月) 会 場:イタリア アグリジェント

監 督 磯村 俊夫 JBBFマスターズ委員会委員長
男子40才80kg級 片川 淳 山口 パワフルヘアースポデビル同好会
男子50才 難波 文義 三重 鈴鹿トレーニングクラブ

自費参加

男子40才70kg級 奥村 武司 大阪 スポーツジム B&F
男子40才80kg級 小沼 敏雄 東京 ゴールドジムイースト東京
女子35才級 廣田 ゆみ 愛知 廣田ボデビルセンター

(4) 第15回アジア競技大会(第42回アジア男子ボデビル選手権大会を兼ねる)

開催日:平成18年12月3日(日)～12日(火) 会 場:カタール ドーハ

団 長 玉利 齊 日本ボデビル連盟会長
監 督 朝生 照雄 日本ボデビル連盟正会員
コーチ 青田 正順 日本ボデビル連盟正会員
帯同審判 中尾 尚志 日本ボデビル連盟常務理事
男子70kg級 近藤 賢司 東京 トレーニングセンターサンブレイ
男子70kg級 須江 正尋 東京 トレーニングセンターサンブレイ
男子75kg級 谷野 義弘 東京 ゴールドジムイースト東京
男子80kg級 相川 浩一 東京 トレーニングセンターサンブレイ

JOCに役員申請をしたが正式回答が一名となり、アディショナルオフィシャル(連盟自費役員)一名となったことが説明 報告された。

以上の第一号議案は、全会一致で承認された。

【第二号議案】新規加盟クラブ及び退会クラブについて

1. 新規加盟クラブ(8)

日本社会人連盟 岡山県立東岡山工業高等学校ボデビルクラブ
" 長田工務店ボデビルクラブ
" 飯田運輸(株)ボデビルクラブ
" 延岡養護学校ボデビルクラブ
" TDKボデビルクラブ
" 三櫻商事ボデビルクラブ
" 建昌ボデビルクラブ
" ANKボデビルクラブ

2. 退会クラブ(2)

熊本県連盟 スポーツジム健康倶楽部 小川順二代表 病気療養のため退会
岐阜県連盟 IWATA同好会 岩田博道代表 解散

その他

1. 2007年東アジアボデビル選手権大会開催について(山口県嶋岡理事長より説明)

主 催: 東アジアボデビル連盟
主 管: 日本ボデビル連盟
運営実行: 山口県ボデビル連盟
参 加 国: 日本、韓国、中国、香港、マカオ、モンゴル、台湾(7ヶ国)
開催期間: 8月2日～6日
後援、運営、タイムスケジュール、収支予算案などの説明があり承認された。

2. 2007年度主催大会開催地について

- (1) 日本クラス別ボディビル選手権大会は、青田正会員より神奈川県に持ち帰り7月8日に実施できるか検討する旨説明があった。
(注意) 総会終了後青田正会員より、6月24日[海老名市文化会館大ホール]に変更になったと連絡があった。早期連絡のため追記した。
- (2) ジャパンオープンボディビル選手権大会は、岡山県連盟より申請[岡山市民会館、9月9日(日)]が承認された。
- (3) オールジャパンミスフィットネス選手権大会は、諸外国でボディフィットネス選手権大会と同時開催しているので、国内でも同時開催することが決定された。なお、ボディ・フィットネス日本代表選考会の名称を日本ボディフィットネス選手権大会とすることが決定された。平成19年度開催については、広島県が主管することが承認された。[広島県民文化センター、8月26日(日)]
- (4) 日本女子新人ボディビル選手権大会並びにミス21健康美大会は、社会人連盟にて開催することが承認された。但し、女子新人の名称については組織拡大委員会より検討の要請があったので今後検討する。
- (5) 全国高等学校ボディビル選手権大会、日本ジュニアボディビル選手権大会は、日本選手権の午前中に開催することが承認された。
- (6) 日本マスターズボディビル選手権大会は、マスターズ委員会より申請[タワーホール船堀、9月23日(日)]され承認された。尚、平成20年度開催主管の希望県については平成19年6月までに主管を申請するよう説明があった。
- (7) 日本ボディビル選手権大会は、日本青年館大ホール、10月8日(月・祝)に開催されることが報告された。

3. 2007年度開催地について

- (1) 西日本ボディビル選手権大会は以下の通り承認された。
愛知県連盟より申請 平成19年7月29日(日) 名古屋市芸術創造センター
- (2) 東日本ボディビル選手権大会は、東北・北海道、北陸甲信越のどちらかが開催するよう検討することが決定された。

4. JBBF公式大会プロビルダーゲスト出場について

プロビルダー(IFBB)は、全てのJBBF公式大会に参加することを禁止する。但し、ドーピングテストを受けるならばゲストに出ても良いという方向性で対処することが決定された。

5. 諸謝金規程の改定について

改定案;第4条 本連盟主催大会における謝金は以下の金額とする。

- (1) 審査員に於いては一大会につき10,000円とする。
- (2) 司会者・進行責任者は、別途設定する。
- (3) ドーピング委員TOに於いては一大会につき10,000円とする。
- (4) ドーピング委員MOに於いては一大会につき20,000円とする。
- (5) 会長が主催大会運営に必要と認めた役員は別途適正な謝金を支給する。 (追加)

上記の通り承認された。

6. ドーピングの実施報告

ドーピングコントロール事務局長より、本年度に競技外14件予定のところ31件実施、ブロック大会9件予定のところ26件実施、18年度中間報告が配布され説明された。埼玉県大会の選手にドーピングテストの陽性反応が出たこと、及び現在本人に確認中であるとの報告があった。

以上をもって総会が終了した。